

【開催報告】 令和6年度水道技術講習会を開催しました。

令和7年3月7日(金) 群馬産業技術センターにて水道技術講習会を開催しました。

水道技術講習会は安心・安全な飲み水を供給するため必要な浄水技術や水質管理技術の習得を目的として、毎年開催しているものです。

今回は、水道事業に携わる県や市町村の担当者や事業所の関係者など130名の方々にご参加いただきました。

鯉淵教授からは、近ごろ水道水の汚染が話題となっているPFAS(有機フッ素化合物)対策の現状と展望について、問題となる物質の基本情報から大学研究室での研究成果などをわかりやすくご紹介いただき、最後に「PFAS 汚染についてはまだ不明な点も多いことから、一過性の問題とせず長期的な経過観察が大切である。」との貴重なご意見をいただきました。

第一講習 「PFAS（有機フッ素化合物）対策の現状と展望」

群馬大学副学長 大学院医学系研究科応用生理学分野教授 鯉淵典之氏

第二講習 「令和6年能登半島地震における水道支援活動の状況」

公益社団法人日本水道協会 工務部技術課課長補佐 木村俊介氏

第三講習 「水質検査における採水方法の注意点」

一般財団法人群馬県薬剤師会環境衛生試験センター 検査部理化学検査課主任 安井奈々

